



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第69号
R5.2.24
文責：佐藤

秋田県学習状況調査の結果について②

今回は、学習の意欲等に関する「質問紙（一部）」の結果についてお知らせします。
割合は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の肯定的な回答の合計です。

（上段：本校 下段：全県）

斜体は10%以上県平均を下回り、↑は県平均を上回った質問事項

No.	質問事項	4年	5年	6年
1-1	勉強が好きだ	65.0 77.1	74.2 ↑ 70.4	51.8 69.0
1-2	勉強は大切だ	80.0 96.8	90.3 97.1	88.9 97.8
1-3	学校の勉強がよく分かる	70.0 91.3	87.1 91.3	88.9 93.3
1-4	ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい	80.0 94.6	83.9 94.7	88.8 95.0
2-1	学校が楽しい	80.0 91.6	83.9 91.8	85.2 92.6
2-2	自分にはよいところがあると思う	45.0 81.6	87.1 ↑ 79.6	77.8 82.3
2-3	将来の夢や目標をもっている	90.0 90.9	93.6 ↑ 87.9	92.6 ↑ 86.0
2-4	学校のきまりを守っている	80.0 89.8	80.6 90.6	88.9 92.0
2-5	人の役に立つ人間になりたいと思う	80.0 96.0	87.1 95.9	92.6 96.3
2-6	地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う	70.0 91.2	87.1 89.4	77.8 88.8
4-1	ふだんの授業では、授業の目標(めあて・ねらい)を意識して学習に取り組んでいると思う	80.0 89.1	80.7 88.3	70.4 90.8
4-2	ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う	85.0 90.6	80.7 90.3	85.2 91.3
4-3	ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	75.0 84.6	83.9 85.2	77.8 88.0
4-4	ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う	75.0 86.0	77.4 85.5	74.1 88.1
5-1	ふだんの授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使用していますか(「ほぼ毎日」「週1回以上」の合計)	90.0 ↑ 85.1	80.7 85.9	96.3 ↑ 86.2
7-1	読書が好きだ	70.0 83.4	87.1 ↑ 78.3	81.4 ↑ 77.8
7-3	本を読んだり、借りたりするために、1か月に図書館にどれくらい行きますか(「5回以上」「3~4回」の合計)	55.0 ↑ 47.3	51.6 ↑ 37.3	55.5 ↑ 30.6

～結果を受けて～

<勉強に対する意識>

- 「勉強が好きだ」の割合は、5年生以外は県平均を10%以上下回り、勉強に対する意欲の低さが顕著である。それでも経年比較すると6年生は3.5%上がり、5年生は7.5%上がっている。4年生は80%、5・6年生においては90%前後の子どもたちが「勉強は大切だ」と感じているので、学習の達成感・成就感を味わえる魅力ある授業で勉強好きを増やしていきたい。
- 「ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい」の割合は、4・5年生は県平均を10%以上下回ったが、6年生は経年比較すると9.5%昨年度よりも上がっている。学年が上がるにつれ、勉強の大切さや必要性に気付くことができている。
- 3学年の平均で「学校が楽しい」の割合は83%と、昨年度の90%よりも下がってしまった。一人一人が居場所や活躍の場を見出すことができるよう、努めていきたい。
- 「将来の夢や目標をもっている」の割合は、3学年で90%以上と県平均を上回っているなので、その気持ちを大事にしながらキャリア教育を推進していきたい。
- 4年生は「自分にはよいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の割合で県平均との差が顕著である。高学年として全校のために働いたり、その働きを認められたりすることで、自己肯定感を高められるようにしていきたい。
- 地域の学習素材を活かし、全学年で地域の方々のお世話になっている。しかし、「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の割合は、4・6年生は県平均を10%以上下回った。コロナ禍によって地域に働きかける経験が不足していることと、与えてもらうことを当たり前と感じていることが影響していると思われるので、“地域のために自分たちができること”を意識させていきたい。
- 「読書が好きだ」の割合が、5・6年生で県平均を上回っている。また、図書館利用の回数に関しては、3学年で県平均を大きく上回っている。さらに選書指導を行ったり、図書館経営を充実したりして、よさを伸ばしていきたい。

<学習過程に関する意識>

- 4-1から4-4までの4つの質問事項では、3学年で県平均を下回っている。経年比較すると「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」割合は、6年生は8.8%、5年生は73.5%上がっている。しかし、「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」では、伸びが見られない。話し合いを通じて友達の考え方に学ぶよさを実感できるようになったものの、“自分から積極的に考えを話しているとは言えない”ようである。このことから、課題意識をもたせたり、話し合いとなる仕掛けづくりをしたりして工夫をし、学びのよさを実感できる探究型の授業づくりを継続していきたい。
- 「ふだんの授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使用していますか（「ほぼ毎日」「週1回以上」の合計）」の割合が、4・6年生では県平均を10%以上上回った。ICTありきではなく、必要な場面で“タブレット端末を文房具と同じように”活用できたと考える。今後も有効に活用していきたい。



お知らせ

2月15日（水）～28日（火）まで、岩城総合支所玄関ロビーに6年生の絵画が展示されています。学習発表会で展示した作品か科学ゆめ画のどちらかを、自分で選択したそうです。もし都合がございましたら、ご覧になってください。

全校へのお知らせが遅くなりまして、大変申し訳ありませんでした。